

法政大学大学院経営学研究科
研究指導計画
(修士課程・夜間)

【研究指導体制】

希望したコースのワークショップやその他の選択必修科目の履修を通じて、コースに所属する教員よりさまざまな助言をし、2年次には希望する指導教員の論文指導科目を履修させ、学位論文の審査基準に従い、コースに所属する指導教員と他の教員と共に論文作成指導を行う。また、コース毎に修士論文の中間報告会を行い、論文執筆の進捗状況の管理に努める。

【1年次】

「4月」

- 各コースに設定されたコース選択必修科目（ワークショップを含む）を履修させ、必要に応じて、コース共通科目として設定されている基礎科目等を履修させる。
- 必要に応じて、経営学専攻修士課程・昼間の設置科目を履修させる。ただし履修できるのは2科目までであり、選択科目として修了所要単位に算入することができる。

「10月～2月」

- 各コースで指導教員を確定させる。

【2年次】

「4月」

1年次に引き続き、コース共通科目として設定されている基礎科目等を履修させるとともに、各コースに設定されたコース選択必修科目を履修させる。コースによっては、修了所要単位として認定されないが、ワークショップの履修が求められる。所属コースの「ワークショップ」の修得単位は、8単位まで選択必修科目として修了所要単位に算入できる。また、それを超える修得単位は選択科目として修了所要単位に算入できる。

修士論文作成のプロセスにおいて、所属コースで定める集団指導体制に従い、春・秋の中間報告会で報告させ、修士論文の途中経過を確認する。

- 必要に応じて、経営学専攻修士課程・昼間の設置科目を履修させる。ただし履修できるのは2科目までで、選択科目として修了所要単位に算入することができる。
- 2年次より修士論文執筆の指導を受けるため、論文指導科目として各コースに設定されている「演習」を履修させる。

「10月」

- 所定の日程に修士論文予備登録をさせ、それまでに修士論文のテーマを確定させ、研究倫理eラーニング（eL Core）の修了証を提出させる。

「12月～1月」

- 所定の日程に修士論文を提出させる。
- 所定の日程に口頭試問による最終審査を行う。